



聖書とは

皆さまは聖書がどんな書物であるか、ご存じでしょうか？
聖書は約 3500 年前に書き始められ、約 1600 年間を経て
約 1900 年前に完成しました。著者は元漁師や農夫、学者や
王など様々な身分、時代の人たちが約 40 人います。



では、こんなに長い年月をかけ、多くの著者により記された
聖書の内容とは、いったい、どのようなものなのでしょう？
前半の旧約聖書には世界の創造やイスラエル民族の歴史が記されています。
後半の新約聖書にはイエス・キリストのご生涯や教えなどが記されています。
これらの内容は、歴史的事実であり
作り話ではありません。

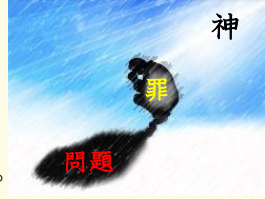


聖書には、神とは？ 人とは？ 人生とは？ 生きる意味とは？ 死とは？
といった深い質問に対する答えがあります。今まで多くの人々が聖書を読み、
闇から光へと人生を変えられました。聖書は人類に最も大きな影響を与えた
書物であり、発行部数も翻訳言語数も他に類を見ない多さです。
是非とも、皆さまも、聖書を手にとって読んでみてください。



人間の罪

さて、この世界には、私たちの人生には、数多くの問題が存在します。戦争、犯罪、貧困、自然破壊、差別、いじめ、自殺、病気、老い、死……なぜ、この世界は、私たちの人生は、これほどに多くの痛み、悲しみ、苦しみに満ちているのでしょうか？



この質問に対する答えは、聖書に記されています。聖書はあらゆる問題の根にある大きな原因を指摘しています。それは、人間が世界の創造主である神に背を向けていることです。この性質が罪であり、あらゆる問題を引き起こしているのです。

いのちのこぼ

聖書は、神が人を愛と祝福の対象として造られたことを記しています。しかし、人が神に背を向け、すばらしい愛と祝福から離れてしまったのです。神は人がご自身のもとへ帰って来るのを待ち続けておられます。そして聖書は人が神のもとに帰る道を照らし出しているのです。



「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。」

(イエス・キリストのことば 聖書 ヨハネの福音書 14章 6節)

聖書には、私たちの抱える問題を解決に導き救う力があります。苦悩から、迷いから、暗闇から、絶望から、無意味に思える人生から、死の恐怖から、そして、すべての原因である罪と罪のさばきから。

悔い改め

「人間には、一度死ぬことと死後にさばきを受けることが定まっている」

(聖書 ヘブル人への手紙 9章 27節)

これは、私たち罪人に対しての神からの宣告です。私たちは正しい神から見れば例外なく罪深い者であり死後の永遠の地獄のさばきに値する者なのです。私たちは罪を認め方向転換（悔い改め）をする必要があります。神に背を向けるのをやめて、神に心を向ける必要があるのです。



神の恵み

神は限りなくあわれみ深く、愛と恵みに満ちた方です。地獄のさばきに値する私たち人間をお見捨てにならず、この惨状から救い出したいと願って下さいました。そして、その願いを大きな犠牲を払って実行に移して下さいました。

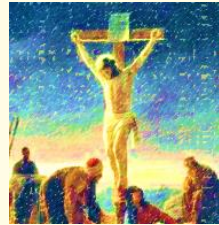


十字架

今から約 2000 年前に、神のひとり子イエス・キリストが人となってこの世に来て下さいました。そして、私たちを救うために十字架に架かって死んでくださったのです。イエス様は十字架の上でこう祈られました。

「父よ、彼らをお赦しください。」(聖書 ルカの福音書 23 章 34 節)

私たちの罪を背負って十字架に架かられ
私たちが受けるべき刑罰を受けて死なれたのです。
私たちの罪が赦されるためにです。
ここに永遠に輝き続ける不滅の愛があります。



信じること

イエス様は十字架で死なれましたが、3 日目に復活されました。そして、40 日後に天へと帰られ、今もすべての人の救い主として天で永遠に生きておられ、聖書を通して私たちに語りかけておられます。

「信じない者ではなく、信じる者になりなさい。」

(聖書 ヨハネの福音書 20 章 27 節)

十字架に架かられたイエス様を見て下さい。この方こそ信頼できるお方です。この方を私の罪のために死んでくださり復活された方、私の救い主と信じ受け入れるならば、あなたのすべての罪は赦され、あなたを待ち続けておられた神の愛のもとへ受け入れられます。神の子どもとして神に愛され神とともに歩む新しい人生が始まり、死後は地獄ではなく天国に入り永遠に生きています。どうか、信じない者ではなく、信じる者になってください。



教会

皆さまは、人生について、生きる意味について考えておられるでしょうか？
「人はどうして生まれたのか？なぜ生きるのか？死んだらどうなるのか？」
是非とも、聖書を開いて改めて考えてみていただきたいのです。

聖書が語っている生きる意味とは、神とともに歩むことです。
私たちは神によって造られたのですから、私たちの生きる意味は
神にあるのです。聖書は神が本当に人を愛されたことを記して
います。この神の愛こそが、私たちの心を本当に満たすのです。



神の愛から離れた罪人である私たちが、神の愛のもとへ帰るために
イエス・キリストは十字架に架られました。そして、聖書が私たちに与えら
れました。イエス・キリストを信じることを通して、人は罪赦され、神の愛の
もとへ帰り、神の子どもとして神とともに歩む永遠のいのちが与えられます。

教会は、このイエス・キリストを宣べ伝え、聖書を学び、神とともに歩む
本当の人生を分かち合うため活動しています。是非、教会へお越しください。

城陽キリスト恵み教会

牧師：増山康友 依田朋之

〒610-0111 京都府城陽市富野西垣内 33 - 123

TEL：(0774) 29-5215

メール：joyo.cgc@gmail.com

当教会は、聖書を神様のことばとして信じ、学んでいる教会
です。統一協会、エホバの証人（ものみの塔）、モルモン教
（末日聖徒イエスキリスト教会）とは関係がありません。

▼詳しくは当教会の
ホームページをご確認ください。

城陽キリスト恵み教会

検索



アクセス

近鉄富野荘駅徒歩 4分



集会案内

日曜日 9：00～ こども礼拝
10：30～ 礼拝
15：30～ 聖書学び会

水曜日 10：00～ 聖書学び会
19：30～ 祈り会

土曜日 14：00～ こどもクラス
15：00～ 聖書学び会

いずれの集会も参加無料です。
駐車場、託児の用意もあります。